

選択肢別回答数

消防官公開模試

教養択一試験

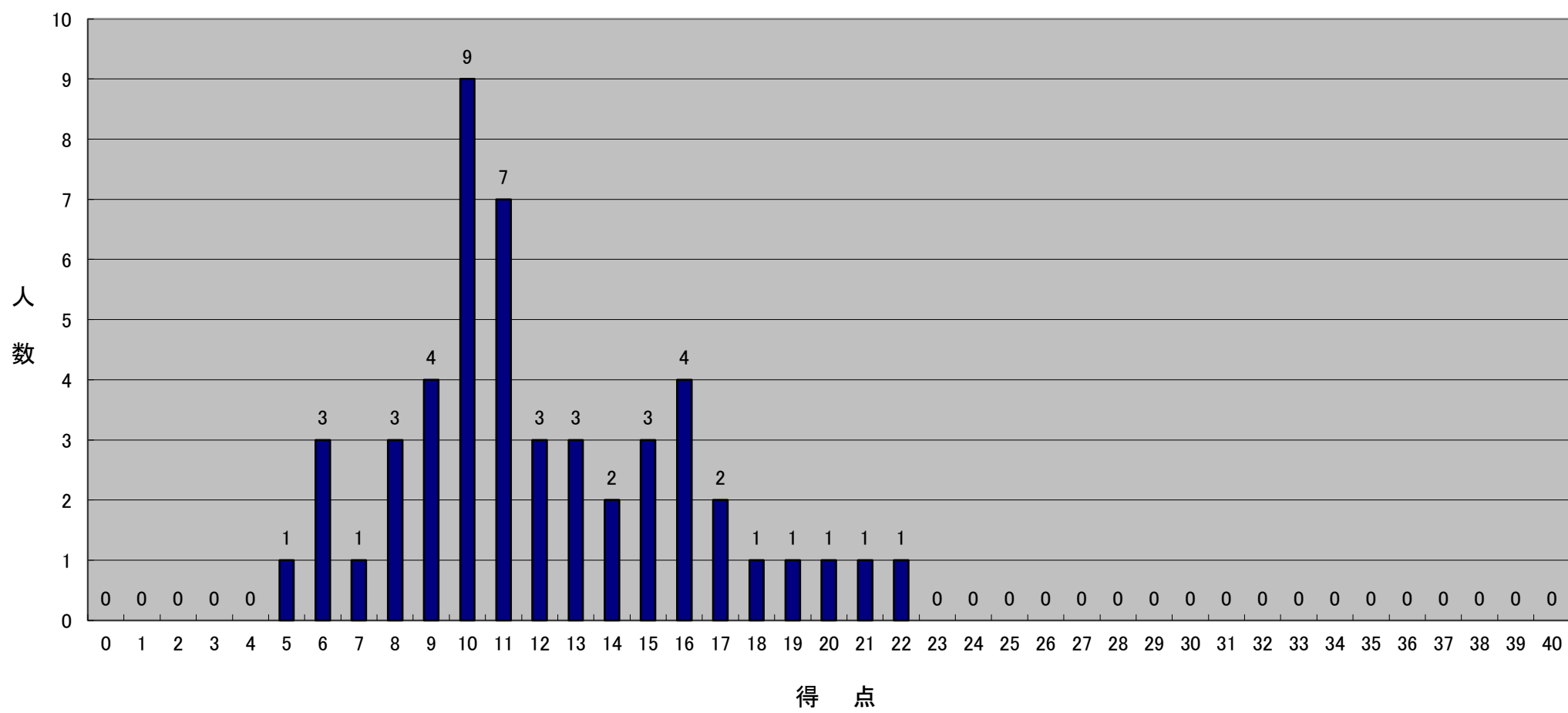
総受験者数

50

2012年08月05日 実施

[illegible][illegible]

得点分布グラフ



上位者ランキング

順位	会員番号	受験番号	得点	受験地
1	9101065209	-	22	池袋
2	0101891817	-	21	梅田
3	9101219109	-	20	池袋
4	0101877417	-	19	梅田
5	9101217209	-	18	池袋
6	0103048005	-	17	池袋
6	0108115912	-	17	自宅
8	0100417128	-	16	立川
8	0102975205	-	16	池袋
8	0103996207	-	16	池袋
8	9101219509	-	16	池袋

TAC公務員講座 秋試験向け公開模試（消防官） 講評

I. 教養択一試験

- 1. 文章理解** 市役所などの消防官試験の文章理解は難易度も高くないので、できれば全問正答しておきたい。趣旨把握問題は、端的に言う「何の話か」ということがわかればよいので、現代文でも英文でも筆者が何について論じようとしているのか、まとめながら読むとよい。
- 2. 数的処理** 本模試は、やや難易度を低めに設定した。判断推理では、【No.9】（ベン図）は平易である。苦手な人の多い分野だが、基本的な問題だけでも正答したい。【No.10】（うそつき）は、出題頻度の高い分野である。本問は平易なので、不正解だった人は、解説を読んで理解してもらいたい。空間把握では、【No.13】（サイコロ）、【No.14】（折り紙）は平易である。【No.12】（立体の切断）は難解であるが、出題頻度は高い。解法だけでも理解してもらいたい。数的推理は、時間のかかる問題を多く出題した。【No.15】（速さ）、【No.18】（食塩水）は難解であるが、【No.17】（時計算）、【No.19】（三平方の定理）は、時間はかかるが平易である。時間配分を考慮した対策も必要であろう。【No.20】（資料解釈）は難解である。分数の比較法をしっかりと復習してほしい。以上の点を踏まえると、13 問中 7 問以上正解できれば、合格レベルと考えてよい。
- 3. 社会科学** 法学分野は例年人権および統治で 2 問出題されており、難易度も基本的な判例の見解を問うている。近年は「新しい人権」が他の試験種でも頻出傾向なので、本模試以外のチェック項目として学習しておくといいだろう。政治社会分野は政治制度・選挙制度・国際事情が頻出である。また、経済分野は例年 3 題出題されており、ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎的な理論から金融政策が頻出である。ただいずれも基本的な内容が大半を占めるので、社会科学の出題全体でみると 6 割は正解が見込める。
- 4. 人文科学** 世界史の戦間期は頻出の時代といえる。また、他の試験種と比べて第二次世界大戦後の現代世界からの出題が多いのも特徴である。日本史は中世から近世の出題が多く、その内容も政治制度から外交・文化まで多岐わたる。地理は自然地理が頻出であるので、本模試では地形を出題した。また、農業も頻出であり、気候区分と関連させて整理するとよいだろう。
- 5. 自然科学** いずれも基本的な問題である。【No.35】は微分を用いた最大値を問題であるが、二次関数を用いた最大値、最小値の出し方も確認しておいてもらいたい。また、【No.36】のような、等加速度運動を用いた問題は頻出であるので、正答を得ることができなかった者は復習をしておいてもらいたい。できれば全問正解を目指してもらいたい。

III. 論文試験

市役所などの消防官試験の論文は、地域事情にかかわる問題と、自身の経験を述べさせる問題とに大きく分かれる。経験談は経験していない人にも伝わるよう、要点をおさえて簡潔に述べることが求められている。面接時にも聞かれることなので、これを機に力を入れてきた経験についてまとめておこう。

以上

平成24年 8月5日(日)実施

◆ TAC公務員講座 秋試験向け公開模試 結果データ ◆

【消防官】

	平均点	受験者数	科 目	問題番号	科目平均点
教養択一	12.1点	50名	文章理解	1 ～ 7	3.4点
			数的処理	8 ～ 20	3.0点
			社会科学	21 ～ 27	1.8点
			人文科学	28 ～ 34	1.5点
			自然科学	35 ～ 40	2.3点
小論文	※平均点は 算出しておりません。	41名	—	—	—
総合成績	12.06点	50名	—	—	—